

IHクッキングヒーター専用  
室内循環フード

# 取付説明書



## もくじ

安全上のご注意	2～3
取り付け上のご願い	3
取り付け前の調査と準備	4～5
各部のなまえ	6
付属品	7
製品寸法図	8
取り付けかた	8～20
1. 付属品の確認	8
2. 本体の準備	9～11
3. 本体の取り付け	12～13
4. 電気配線	14
5. フードの取り付け	15
6. タクトカバー・フィルター類の取り付け	16～19
7. 誘導カートリッジ・整流板の取り付け	19
8. 試運転	20
9. お客様への説明	20

販売店・工事店様へ：  
この取付説明書は取り付け後、  
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 2081



\* 1 J 0 3 2 0 8 1 \*

# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が軽傷を負う可能性および物的損害\*の発生が想定される内容。

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

## 絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



使用禁止

- IH クッキングヒーター以外には使用禁止  
ガスコンロには使用できません  
本製品は燃焼発生ガスを浄化できません  
ので、一酸化炭素中毒の原因になります



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする  
本製品は屋外への排気および換気をおこないません  
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください  
一酸化炭素中毒の原因になります



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- 室内循環フード本体と可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



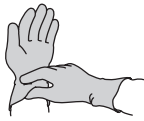
# 安全上のご注意

## ⚠ 注意



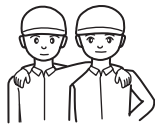
手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



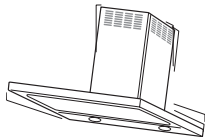
取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
製品は約 43.5kg の重さがあります



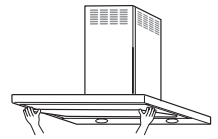
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に  
おこなうこと  
落下によりけがをする  
おそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実に  
おこなうこと  
落下によりけがをする  
おそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になる所には  
取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



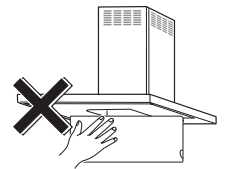
使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）  
感電および故障の原因になります  
（本製品には換気機能はありません。）



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対  
に入れないこと  
けがをするおそれ  
あります



# 取り付け上のお願ひ

- 下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- ・ 大工工事（設置のための地下工事等）
- ・ 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）

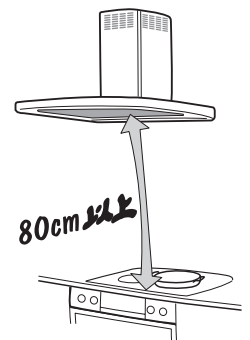
流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- 室内循環フードは、屋外への排気をしません。  
備え付けのIHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。
- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。  
IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。

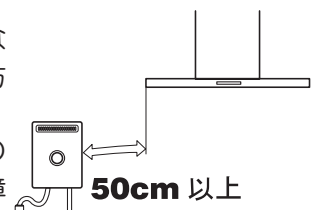
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。

- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

- 製品はIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がIHクッキングヒーターの真上 80cm 以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

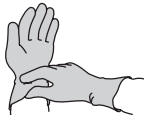
- 室内循環フード本体と可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

## 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



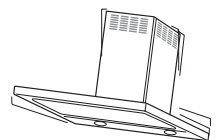
取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと  
火災・故障の原因になります

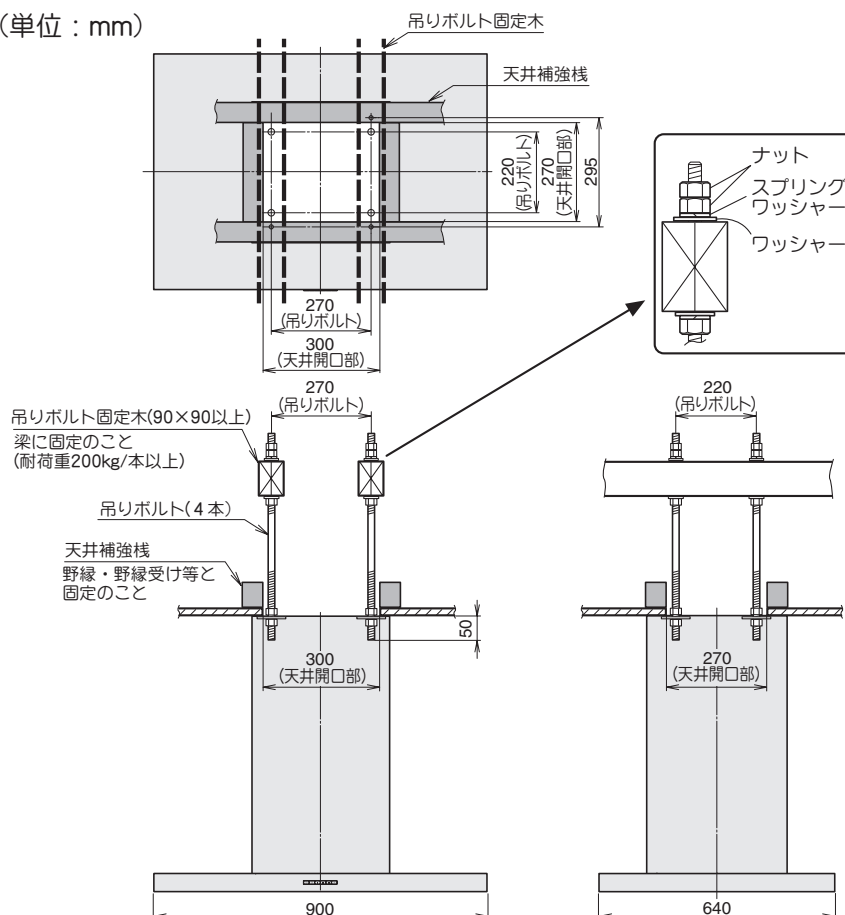


取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



## 取付要領図 (単位: mm)



# 取り付け前の調査と準備

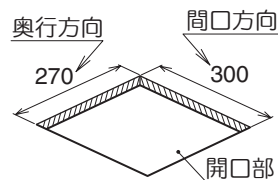
## ■ 取付位置の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品単体質量	43.5 kg
--------	---------

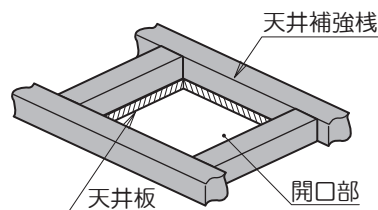
## 1 天井面への穴あけ

1) 天井面の本体を取り付ける位置に間口 300×奥行 270 の開口をあけてください。



2) 開口部周辺を補強枠で補強してください。

※ 補強枠は、野縁・野縁受け等に固定してください。



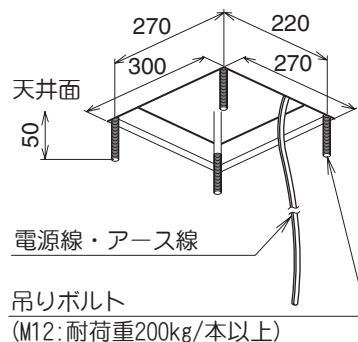
(単位：mm)

## 2 吊りボルトの取り付け

本体の天吊り穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

※ 吊りボルトは、M12 を用いてください。

※ 製品の重量は約 43.5kg です。吊りボルトは耐荷重 200kg/本以上となるように取り付けてください。



(単位：mm)

## 3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

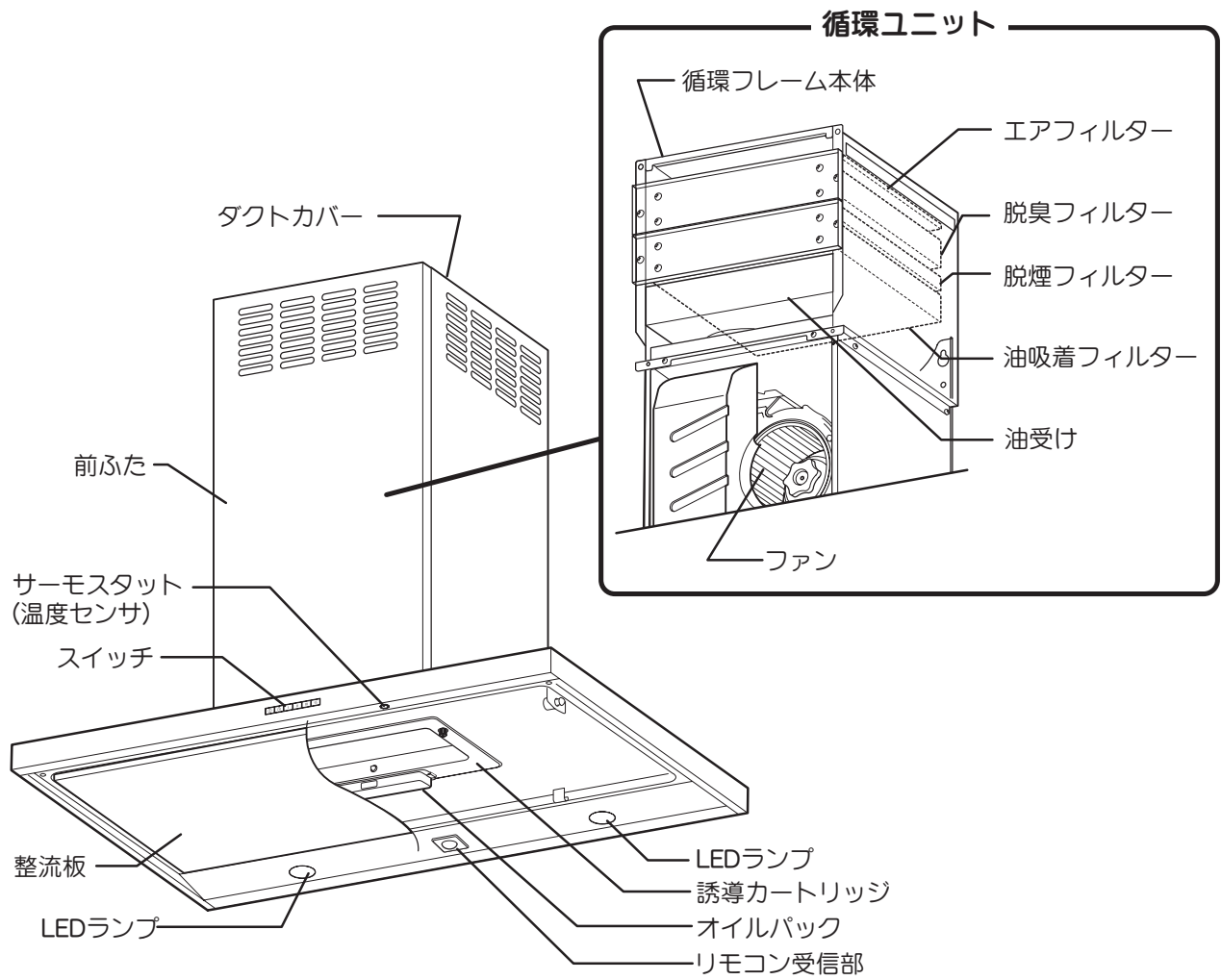
## 4 電源線・ブレーカー

- ・ 本体を設置する場所の図の位置(上記手順 2 参照)に、電源線(VVF ケーブル 2 芯  $\phi 1.6$  または  $\phi 2.0$ ) とアース線を 1500mm 引き出してください(本製品は交流・単相 100V 仕様です)。
- ・ ブレーカーは専用のものを設置してください。

### お願い

必ずアース (D 種接地工事) をしてください。室内循環フードが誤作動することがあります。

# 各部のなまえ


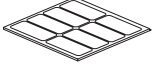
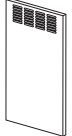
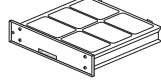
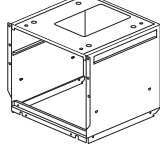
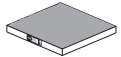
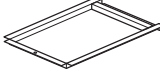
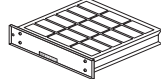
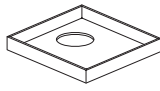


# 付属品

## 室内循環フード本体付属品

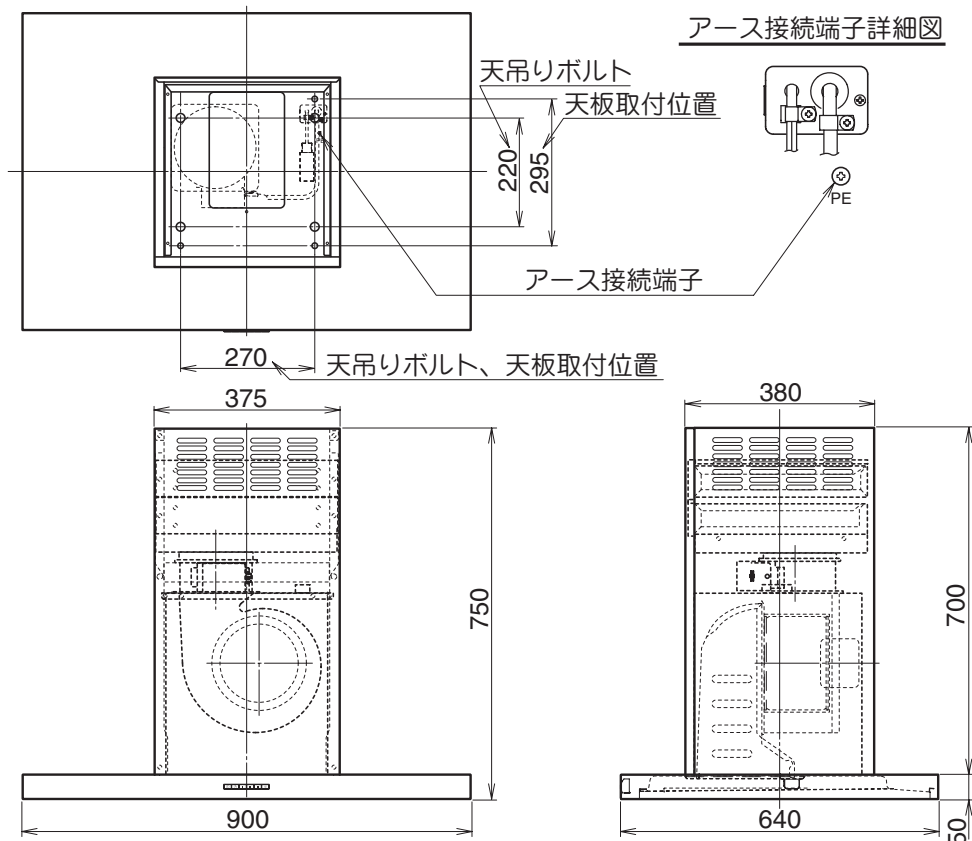
	座付ねじ φ 5.1 × 45 (3 本)	本体の取り付けに 使います。		ワッシャー (4 個)	本体の取り付けに 使います。
	ナベねじ M4 × 8 (13 本)	循環ユニットおよび ダクトカバーの取り 付けに使います。		ソフトテープ (1 本)	排気口と油受けとの すきまをふさぐのに使 います。
	トラスねじ M4 × 10 (8 本)	循環ユニットおよび 各フィルターの取り付 けに使います。			

## 循環ユニット付属品（別売品）収納箱内

	ダクトカバー (1 個)	循環フレーム本体部 と本体部をカバーしま す。		エアフィルター (1 個)	循環ユニットの構成 部品です。
	前ふた (1 個)			脱臭 フィルター (1 個)	
	循環フレーム 本体 (1 個)	循環ユニットの構成 部品です。		脱煙 フィルター (1 個)	
	ふた (1 個)			油吸着 フィルター (1 個)	
	油受け (1 個)				



# 製品寸法図 (単位: mm)



## 取り付けかた

### 1. 付属品の確認

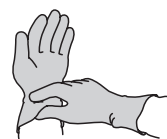
本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。  
室内循環フード本体部の梱包箱および循環ユニット部の付属品収納箱から付属品を取り出し、付属品一覧(7ページ)により不足がないか確認してください。

### ⚠ 注意



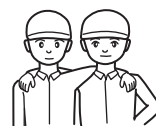
手袋をする

- 製品取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



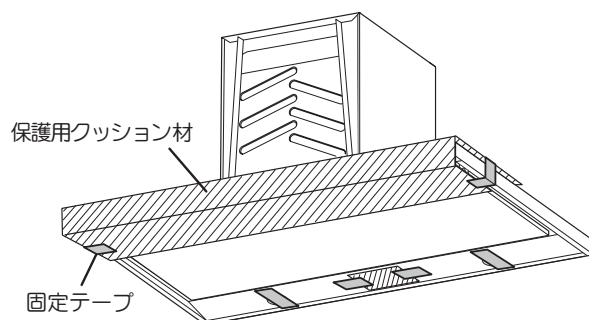
取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
製品は約 43.5kg の重さがあります



### お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定用テープはキズ・破損防止のためはずさないでください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ず保護シート等を敷いた上で作業をおこなってください。



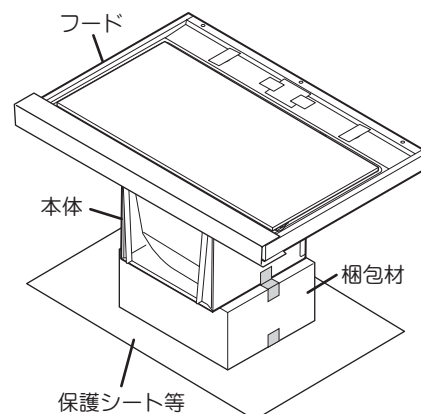


# 取り付けかた

## 2. 本体の準備

### お願い

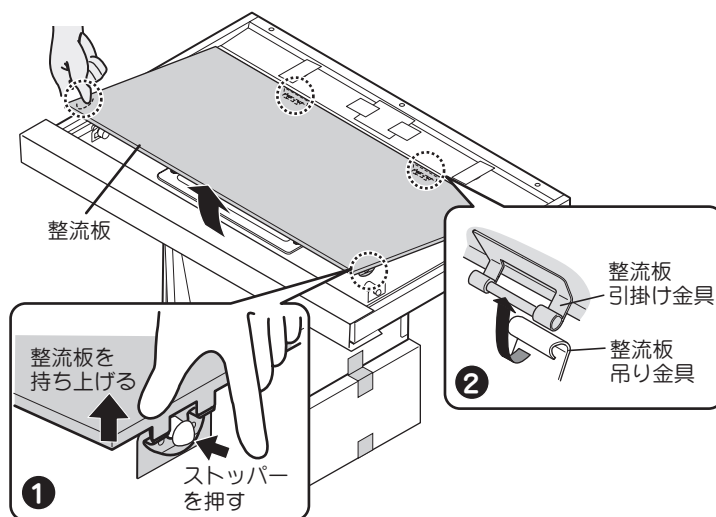
- ・床面を傷つけないよう、保護シート等を敷いた上で作業をおこなってください。
- ・フードと本体を分離するまでは本体下の梱包材を付けた状態で作業をおこなってください。
- ※ フードが倒れないよう、しっかりと支えて作業をおこなってください。



### 1 整流板をはずします。

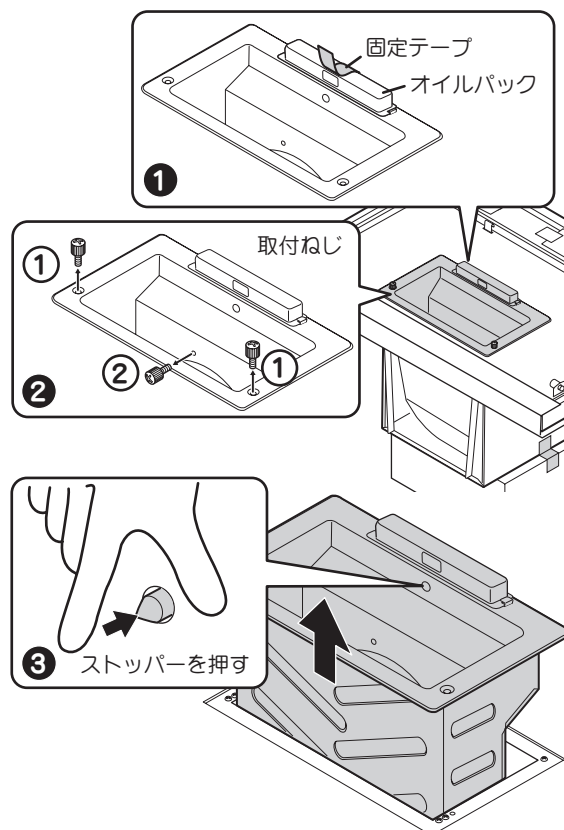
※ 室内循環フードを図のように整流板が上になるように置いて作業します。

- 1) 整流板を固定しているテープを取り除きます。
- 2) 整流板の前側を固定している左右の突起を押し込みながら前側をゆっくりと持ち上げ、ロックをはずします ( ① )。
- 3) 整流板を開いた状態で、整流板吊り金具から整流板引掛け金具をはずします ( ② )。



### 2 誘導カートリッジをはずします。

- 1) オイルパックを固定しているテープを取り除きます ( ① )。
- 2) 取付ねじを①, ②の順番ではずします ( ② )。
- 3) ストッパーを押しながらゆっくりと上へ引き出します ( ③ )。



### お願い

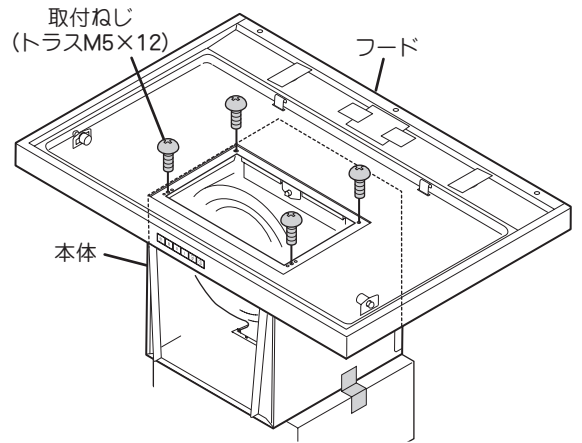
誘導カートリッジはキズをつけないよう、ゆっくりと引き出してください。  
また、オイルパックを落とさないように注意してください。

# 取り付けかた

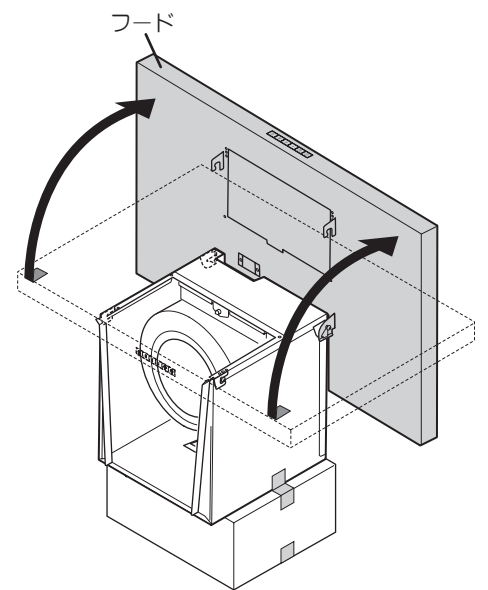
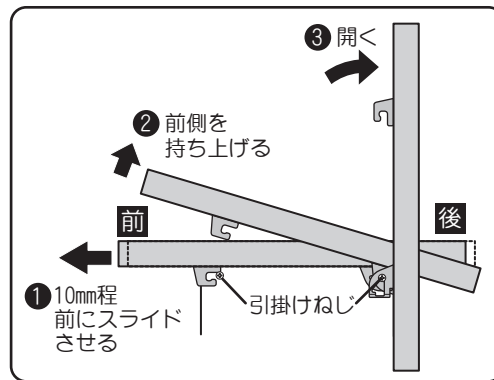
- 3 フードと本体を分離します。  
取付ねじ (トラス M5 × 12) 4 本をはずします。

## お願い

取りはずしたねじは「5. フードの取り付け」にて再度使用しますのでなくさないでください。



- 4 フードを取りはずします。  
1) フードを前方へ 10mm 程スライドさせ、前側を持ち上げてフードを開きます。

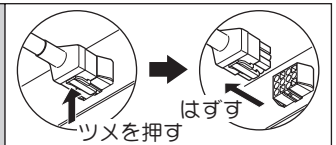


- 2) 電気配線のコネクター 5ヶ所をはずします。

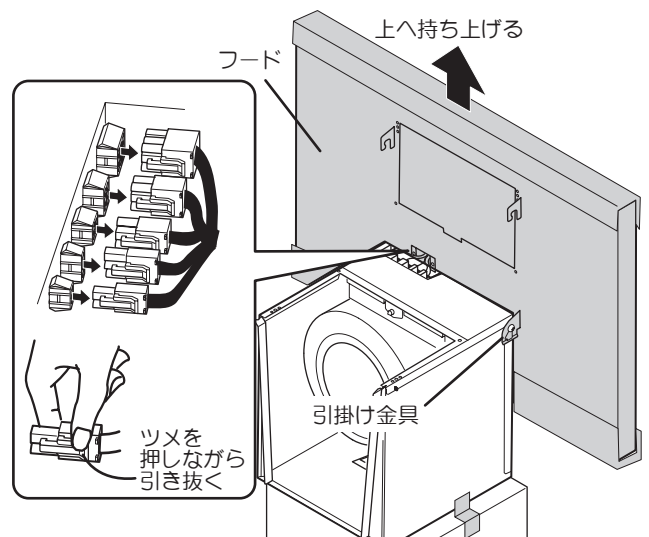
## お願い

コネクターをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。無理に引っ張ったり、コードを持って引き抜くと断線するおそれがあります。

## コネクターをはずす場合

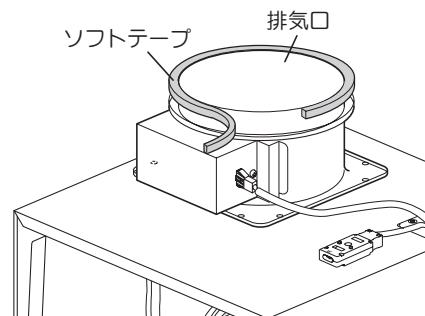


- 3) フード奥側の引掛け金具をはずしながらフードを上を持ち上げ、本体からはずします。



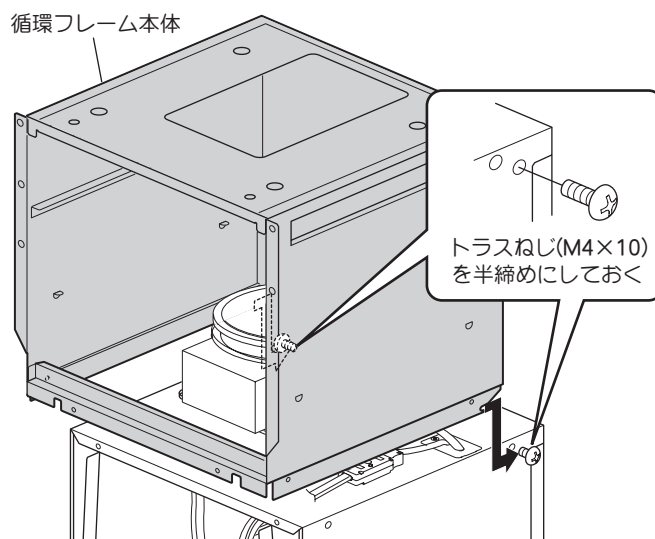
# 取り付けかた

- 5 排気口にソフトテープを貼り付けます。  
図のように排気口の端面に沿って付属品のソフトテープを貼り付けます。

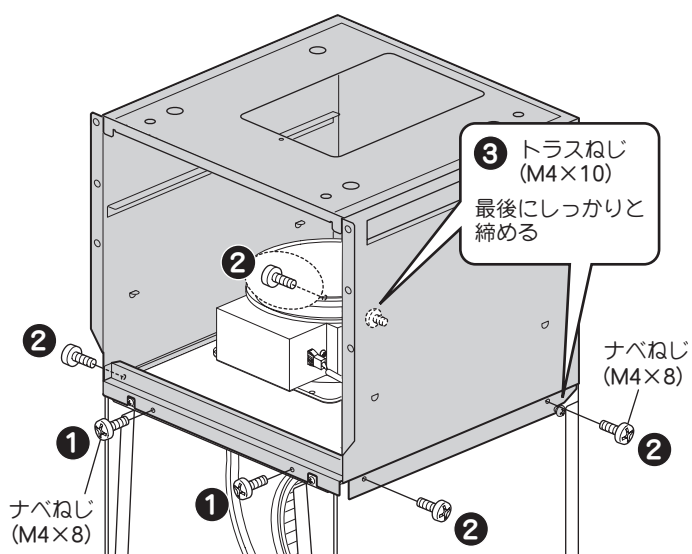


- 6 循環フレーム本体を本体に取り付けます。

- 1) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本を、フードの右図位置に半締めにしておきます。
- 2) 別梱包品の循環フレーム本体を取り出します。  
循環フレーム本体の後方下部にある左右の切り欠きを、本体に半締めしたトラスねじに引っ掛けます。



- 3) 前面2ヶ所 ( ① ) および左右4ヶ所 ( ② ) を付属品のナベねじ (M4 × 8) で固定します。
- 4) 手順1) で取り付けした半締めのトラスねじ (M4 × 10) 2本をしっかりと締め付けます ( ③ ) 。



# 取り付けかた

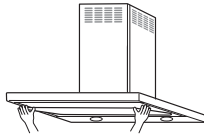
## 3. 本体の取り付け

### ⚠ 注意



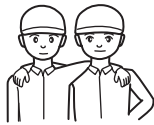
取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



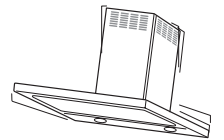
取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
製品は約 43.5kg の重さがあります



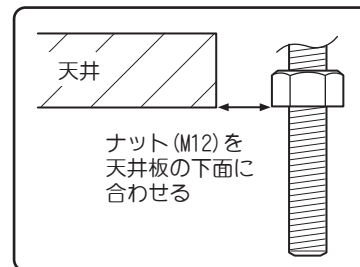
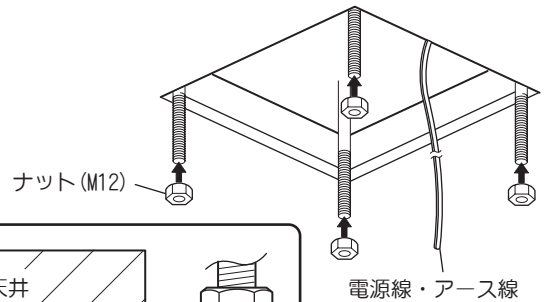
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



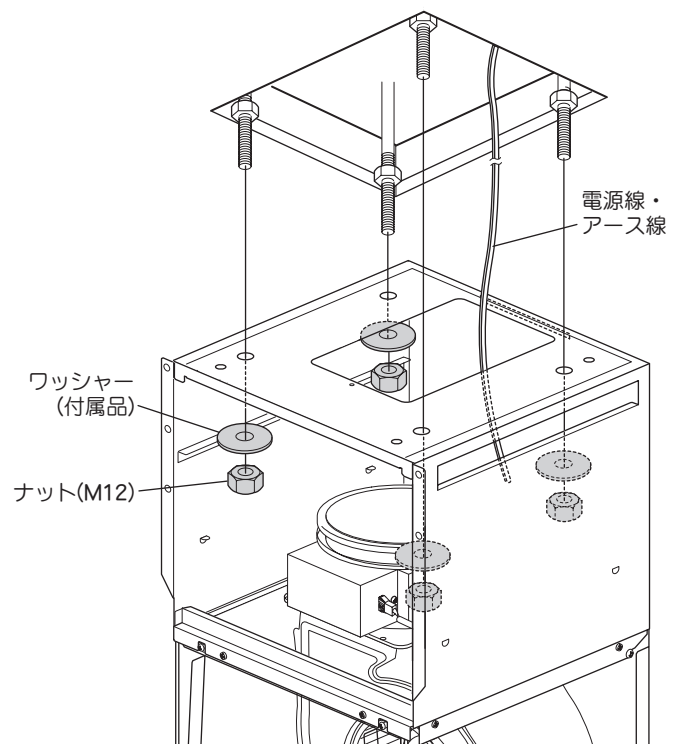
### 1 吊りボルトにナットを取り付けます。

- 1) 吊りボルト 4 本に M12 ナット（取付作業  
者側手配）を天井板下面に合わせ  
てセットします。
- 2) 電源線・アース線を天井開口部から引き  
出します。



### 2 循環フレーム本体を吊りボルトに固定します。

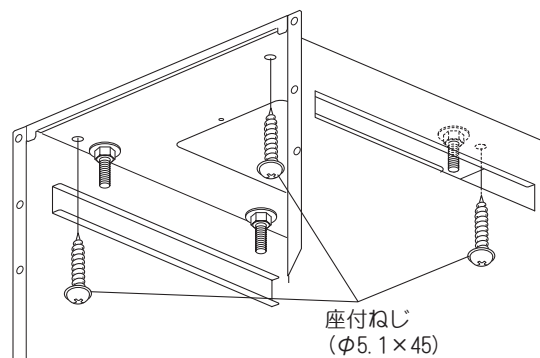
- 1) 電源線・アース線を循環フレーム本体上部の開口部に引き込みます。
- 2) 循環フレーム本体上部の穴に吊りボルトを差し込みます。
- 3) 付属のワッシャー 4 個を吊りボルトに通し、M12 ナット（取付作業  
者側手配）で締め付けます。  
※ 電源線・アース線を挟み込まない  
ように注意してください。



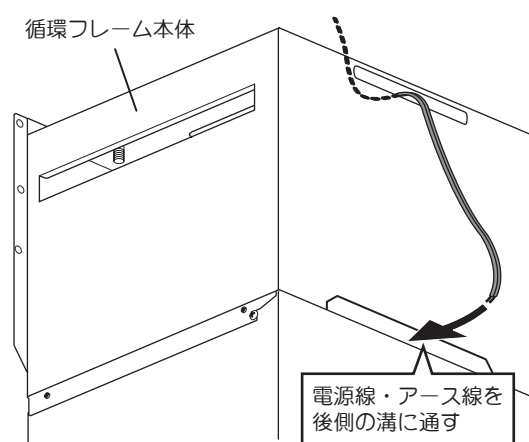
# 取り付けかた

## 3 本体を天井面に固定します。

- 1) 付属品の座付ねじ (φ 5.1 × 45) 3 本で天井に固定します。

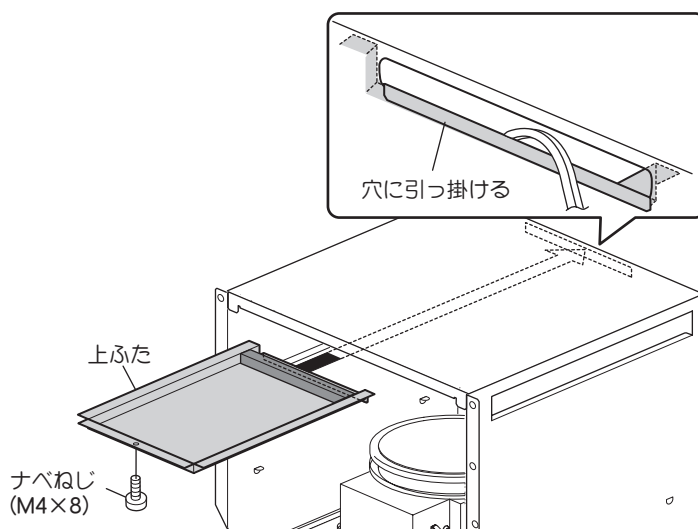


- 2) 電源線・アース線を循環フレーム本体背面上部の穴に通し、下部の穴から本体内部に引き込みます。



## 4 上ふたを固定します。

- 循環フレーム本体上部の溝に上ふたの先端を引っ掛け、手前側を付属品のナベねじ (M4 × 8) で固定します。



# 取り付けかた

## 4. 電気配線

### 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



取付注意

- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください

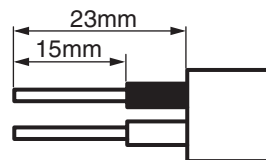
- 必ずアース（D 種接地工事）をしてください。  
電源端子台付近の PE 端子にアース線を接続します（下図参照）。  
※ アース線は取付作業側にて手配してください。
- 「8. 試運転」（20 ページ）までブレーカーは「入」にしないでください。

### お願い

ブレーカーは専用のものを  
設置してください。

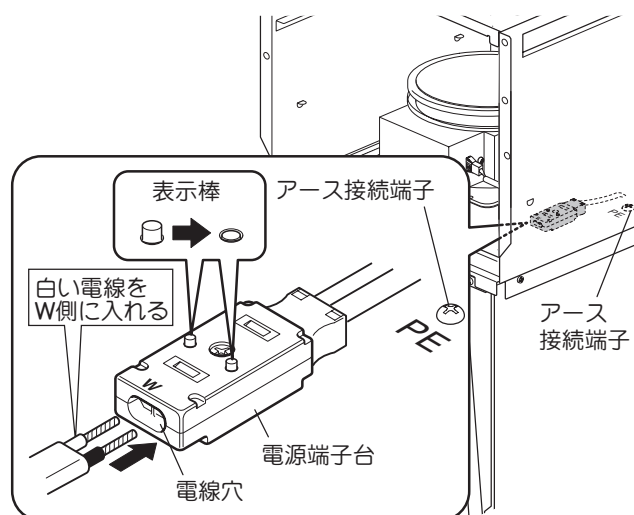
### 1 電線被覆を 2 本ともストリップゲージに合わせてむきます。

ストリップの長さを必ず確認してください。  
適用電線はφ 1.6 または φ 2 VVF2 芯 Cu(銅)  
単線専用です。



### 2 電源端子台の電線穴に芯線を 2 本同時に差し込みます。

白色の電線が W 側になる向きに差し込んでください。  
挿入後、表示棒が下がったことを確認してください。

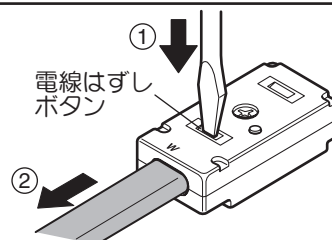


### 3 充電部の露出がないことを確認してください。

### お願い

ストリップ長さが適切でない場合や表示棒が下がっていない場合は、端子部の異常発熱の原因になり危険ですので、ストリップ長さを再度確認の上、結線をやり直してください。

**電源線のはずしかた**  
電線はずしボタンをマイナスドライバーで押しながら (①)、電線を引き抜く (②)。





# 取り付けかた

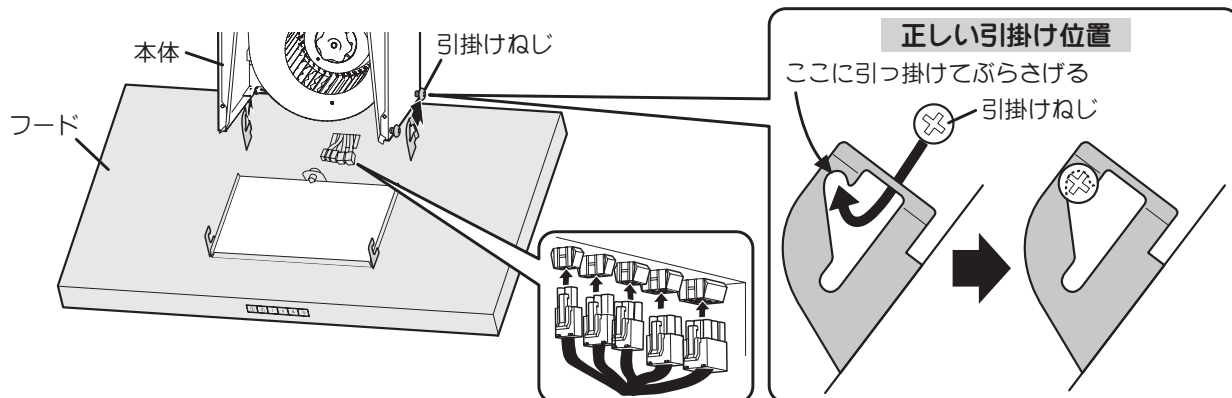
## 5. フードの取り付け

フードを取り付けます。

- 1) フード奥側の金具を本体の引掛けねじに引っ掛けます。
- 2) コネクター 5ヶ所を差し込みます。

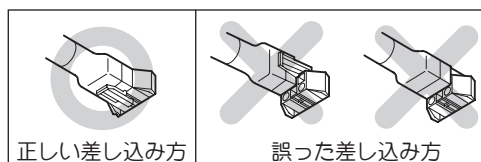
### お願い

金具を引っ掛ける際は、引掛け位置にご注意ください。指定の引掛け位置以外で取り付けをおこなったり、ケーブル類を挟み込んだまま取り付けをおこなうと、ダクトカバーにすきまが生じます。



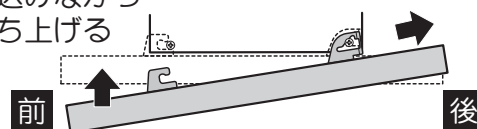
### お願い

- ・コネクターの接続は確実にこなしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- ・コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

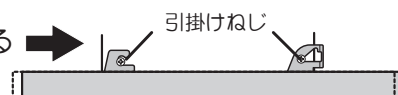


- 3) フード前側を水平になるまで持ち上げてからフードを後方にスライドさせ、フードの金具を本体引掛けねじ 4ヶ所に引っ掛けます。

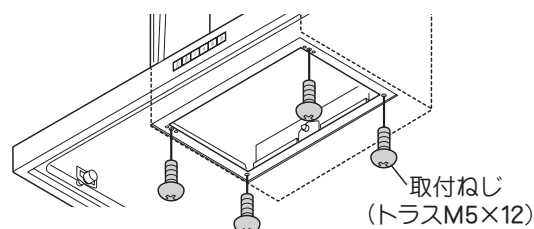
- ① 奥へ押し込みながら前側を持ち上げる



- ② スライドさせる



- 4) 「2. 本体の準備 手順 3」(10 ページ) ではなく取付ねじ (トラス M5 × 12) 4本でフードの下から固定します。

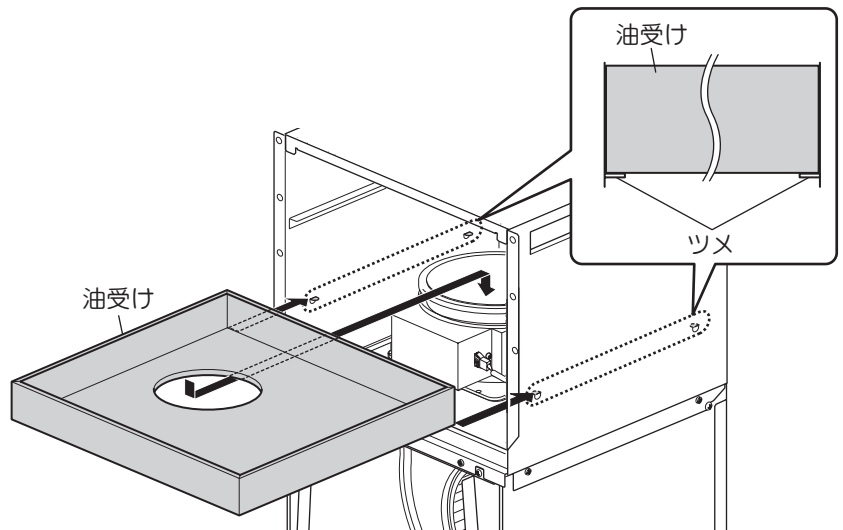




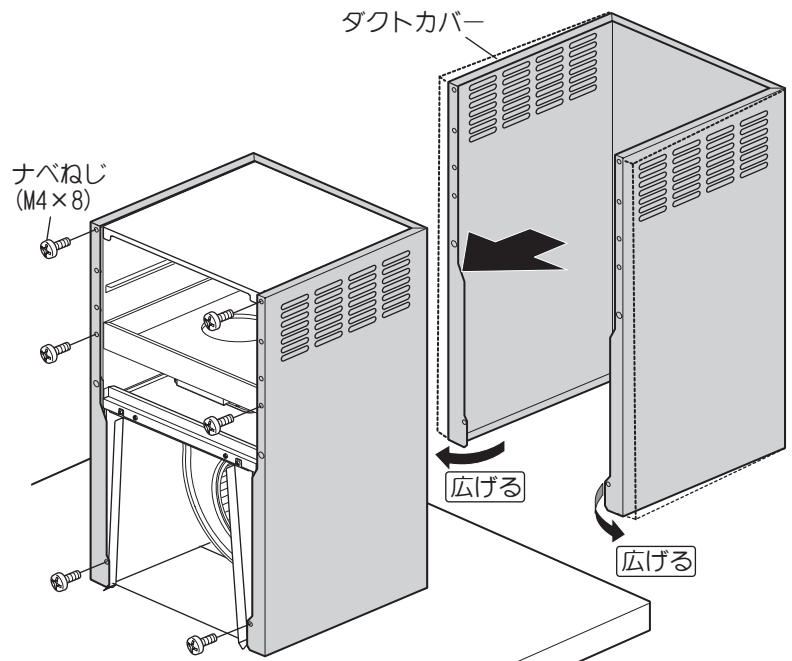
# 取り付けかた

## 6. ダクトカバー・フィルター類の取り付け

- 1 油受けを取り付けます。  
油受けの穴を排気口に合わせ、  
ツメの位置まで押し下げます。



- 2 ダクトカバーを取り付けます。  
1) ダクトカバーの両側を広げ、  
後方から本体に差し込みます。  
2) 付属品のナベねじ (M4 × 8)  
6本で固定します。



- 3 フィルターを取り付けます。  
(17, 18 ページ参照)

### お願い

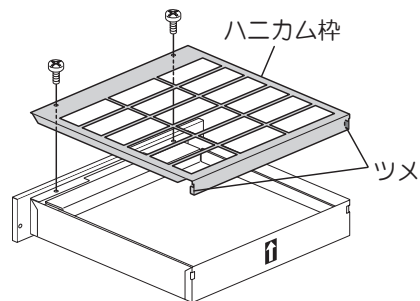
- 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。
- フィルターの粉が落ちる場合があります。  
粉が衣服等に付着した場合落ちなくなるおそれがありますので取り扱いには十分注意してください。

# 取り付けかた

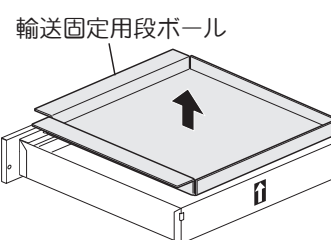
## ■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側のねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずします。



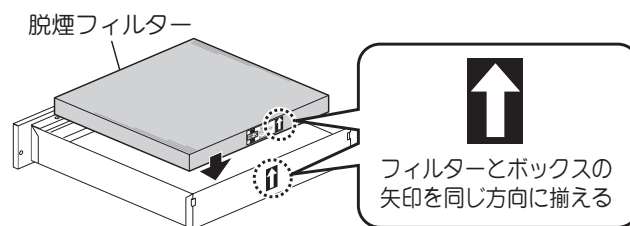
- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。



- 3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

### お願い

必ず脱煙フィルターとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。

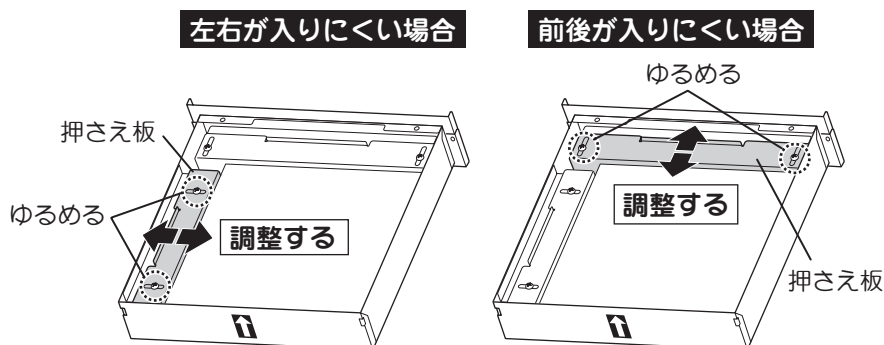


## ■ 脱煙フィルターが入りにくい場合は

フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

ボックスに脱煙フィルターが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。

挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。

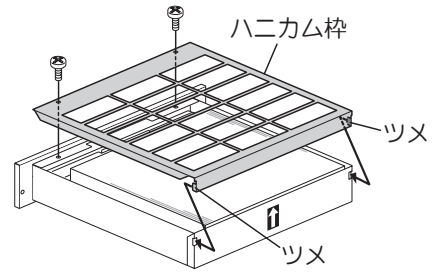


### お願い

脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

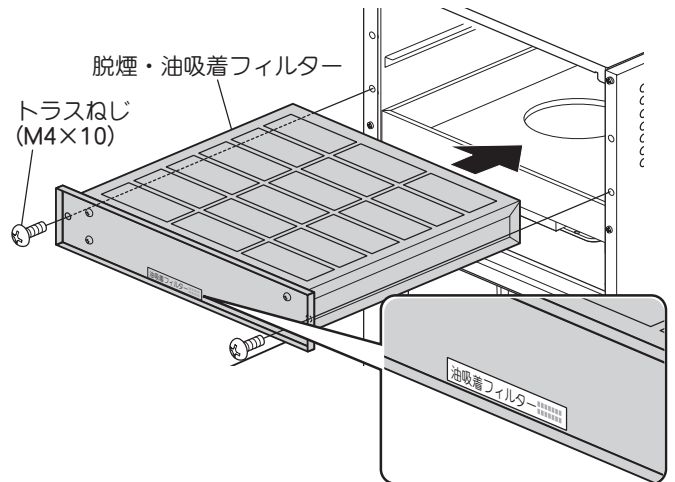
# 取り付けかた

- 4) ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。

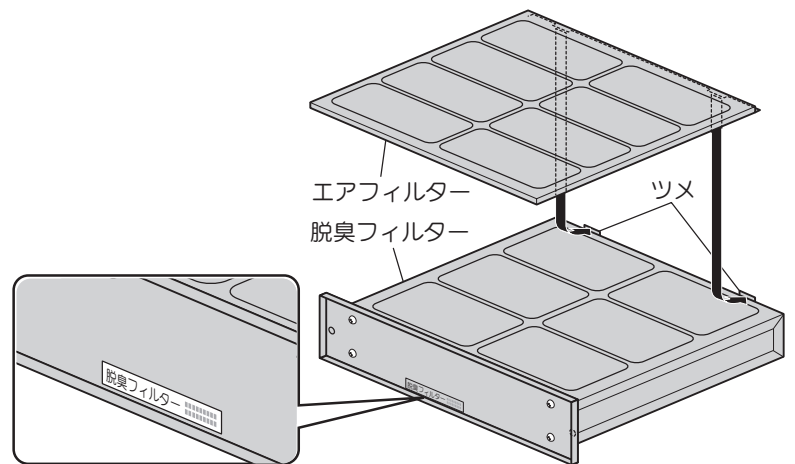


## ■ 各フィルターの取り付け

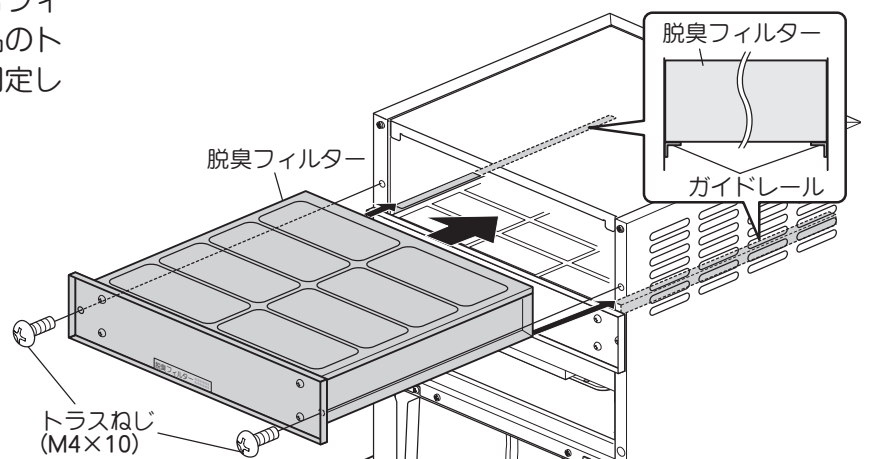
- 1) 脱煙・油吸着フィルターを油受けの上側にセットし、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



- 2) 脱臭フィルター奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを載せます。



- 3) 脱臭フィルターを脱煙・油吸着フィルターの上に差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

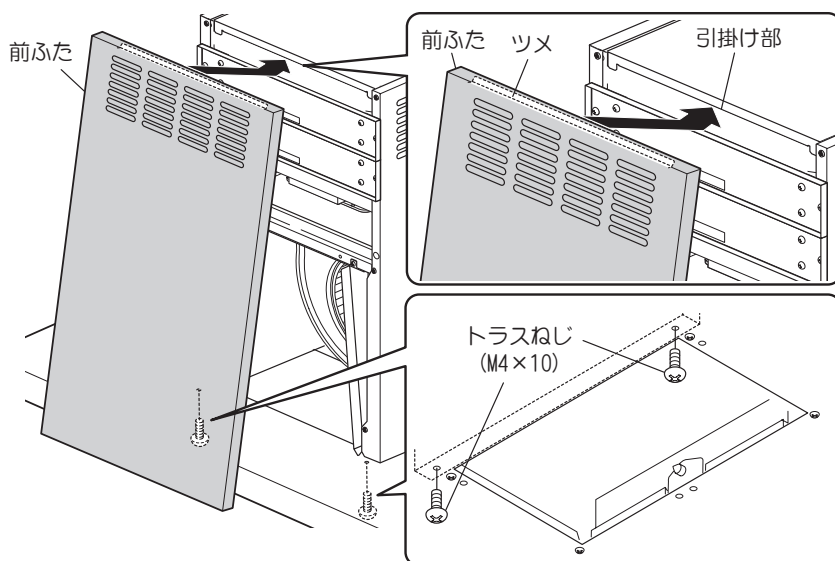


# 取り付けかた

4

## 前ふたを取り付けます。

前ふた上部のツメを本体引掛け部に入れ、フード下側から付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



## 7. 誘導カートリッジ・整流板の取り付け

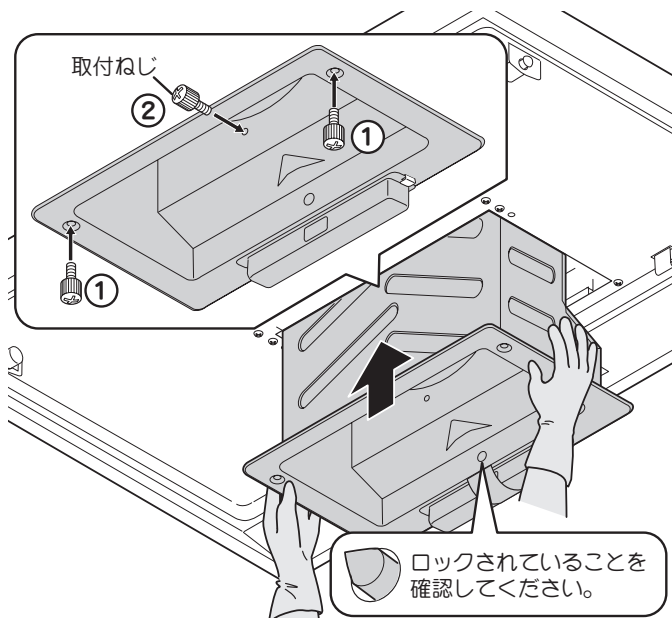
1

### 誘導カートリッジを取り付けます。

1) 誘導カートリッジを両手で持ち、開口部に差し入れます。内側奥にあるストッパーで固定されるまで、まっすぐにゆっくりと差し込んでください。

※ 誘導カートリッジがストッパーで確実に固定されたことを確認してください。

2) 取付ねじを②, ①の順番で固定します。



### お願い

誘導カートリッジはゆっくりと差し込んでください。キズ・変形の原因になります。

2

### 整流板を取り付けます。

「2. 本体の準備」手順 1 (9 ページ) で取りはずしたときと逆の手順で取り付けてください。

### お願い

整流板の固定は確実におこなってください。  
ロックが不十分だと整流板の落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

# 取り付けかた

## 8. 試運転

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。



## 9. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。